

鎌倉映画茶論【安城家の舞踏会】

「カフェサンスーシ」映画鑑賞の集い

名作は何度見ても新たな発見と感動を与えてくれます

原節子 追悼シリーズ 第五弾



毎月第三金曜と第三土曜16時 無料上映
感動の名画・永遠の名優と共にお過ごし下さい

～ 作品紹介 ～

1947年（昭和22年）松竹 吉村公三郎監督 89分

昭和22年5月新憲法施行に伴い華族制度（公候伯子男の爵位）が廃止
名門華族の没落をチェーホフの「桜の園」に倣って描いた作品（同年9月封切）
華族の生活維持に邸宅を抵当に入れた安城家当主忠彦（滝沢修）が、最後を
記念するために催した舞踏会では、長男正彦（森雅之）長女昭子（逢初夢子）
抵当権者新川（清水将夫）その娘曜子（津島恵子）等による愛憎ドラマが展開
次女敦子（原節子）は、伯爵安城家が夢のごとく消えて行くという寂しさに
短銃自殺を図る年老いた忠彦を励まし、父娘二人の最後の舞踏で慰めます
第21回キネマ旬報ベストテン第1位 原節子の美貌が最高という評価も！

日時：5月 20日（金）・21日（土） 16時より

「カフェサンスーシ」鎌倉雪の下3 清泉小正門斜向い

定員15名 ご予約は 0467-23-7223

または、当店HP (<http://sanssouci.cafe.coocan.jp/>) から